

## T-24: 高次統計量の誤差分布推定による独立成分分析の改良

松田源立 山口和紀 (東京大学)

- 目的 独立成分分析 (ICA) の頑健性の向上させ、少数サンプルで推定可能に
- 提案原理 4 次統計量 (尖度) の間の相関 (8 次統計量等) を式展開により評価
- 提案手法 以下の (A),(B) の EM 的繰返し:
  - (A) 8 次等の高次統計量から真の尖度を推定
  - (B) 推定尖度に基づき ICA を実行
- 実験結果 源信号が一様分布 (負尖度) を含む場合、提案手法は既存手法 (JADE) より高性能